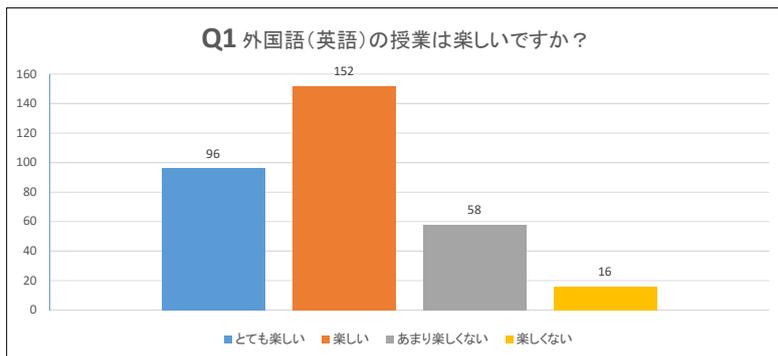
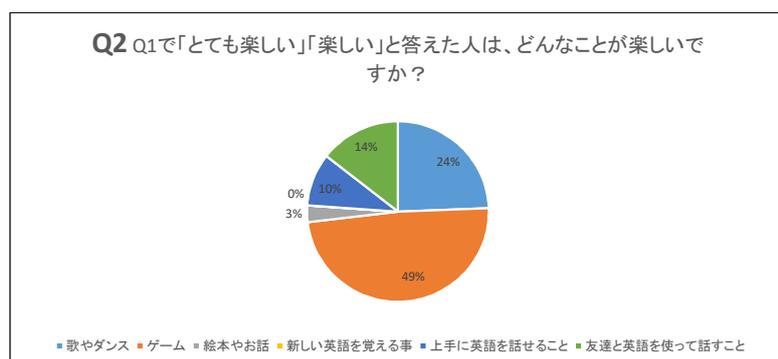


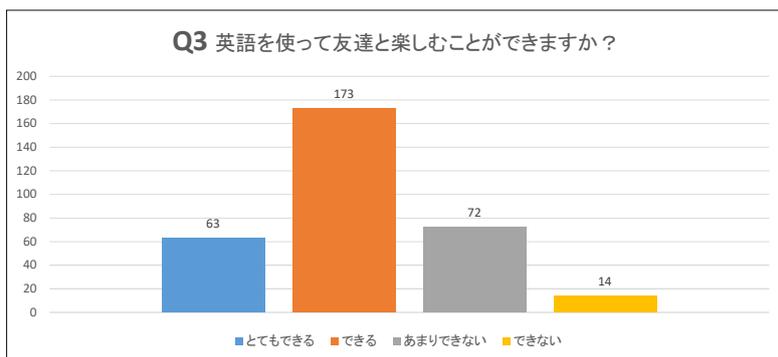
令和4年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(不知火小学校)



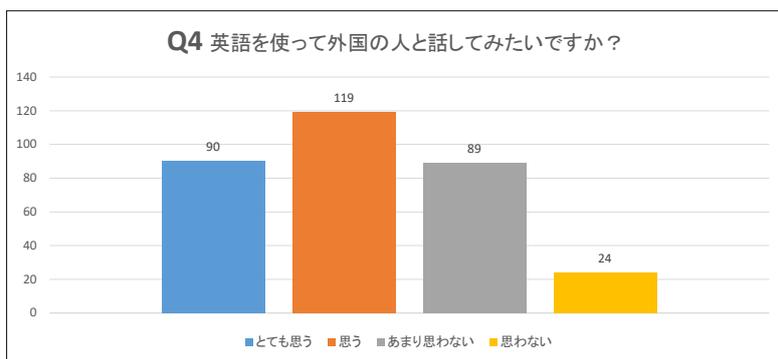
【Q1について】
 外国語(英語)の授業がとても楽しい、楽しいと答えた児童の割合が77%であった。外国語(英語)の授業を好意的に受け止めていると考えられる。



【Q2について】
 外国語(英語)の活動内容で子供たちに人気があるのは
 1位 ゲーム的な活動 49%
 2位 歌やダンス 24%
 3位 友達と英語を使って話すこと 14%
 ということが分かった。子供たちにとって、活動内容の楽しさが外国語(英語)の授業の楽しさだと考えられる。



【Q3について】
 77.3%の児童が英語を使って友達と楽しむことがとてもできる、できると答えている。英語を使って友達と交流することに関心・意欲を持っていると考えられる。



64.9%の児童が英語を使って外国の人と話してみたいと考えている。割合的に高くないので、英語の必要性や英語を使った達成感を味わう活動を多く取り入れる必要がある。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】
(保護者)
 英語学習に対する保護者の考えとしては、コミュニケーション力を高めてほしいという意見と外国の文化に親しんでほしいという意見が多かった。
(学校関係者)
 コミュニケーション能力を高めると同時に、自分の考えを積極的に表現できるようになってほしいという意見があった。

【考察・今後の展望等】
 学習したことを生かして表現できた喜びを味わうことができる授業を展開し、子供たちの達成感・自己有用感を高めていく必要がある。学校全体として外国語(英語)の時間が好きであるという傾向が見られるので、更に英語が好きという子供たちを育てていきたい。